



松下 大輔 (教授)

1 メッセージ

人間行動の計測や調査に基づく構築環境のデザインを研究と実践の両面で探求しています

2 研究テーマ

1. 人間行動の計測に基づく建築計画と実践

- 睡眠計測による睡眠の質を向上させる寝室の開発 ((株) 飯田産業との共同研究)
- 郊外住宅地住人の歩行習慣定着を促す地域計画 (寺池台ボランティアグループとの共同研究)
- 市場調査に基づく空き住戸改修 (大阪市住宅供給公社との共同研究)
- 管理組合法人の調査による高経年マンションの管理方法
- 在宅勤務の調査による執務空間計画

3 担当科目

1. 学部

建築計画学
インテリア計画学
設計製図II
住居学概論
居住環境学概論

2. 大学院

居住空間設計学系特論
計画 (設計系) 演習

4 主な著書

- デザインは間違う、京都大学学術出版会、2023
- 建築のインテリアの本、電気書院、2020

5 主な論文

- Matsushita, D. and Gu, Y. (2024), Improving locomotive syndrome risk level through community-led activities to establish walking habits. Jpn Archit Rev, 7: e12433.
- 松下 大輔, 都市部の集合住宅に居住する育児期の女性在宅勤務者の執務空間, 日本建築学会計画系論文集, 2024, 89 巻, 815 号
- Xiaorui Wang, Daisuke Matsushita, Non-contact determination of sleep/wake state in residential environments by neural network learning of microwave radar and electroencephalogram-electrooculogram measurements, Building and Environment, Volume 233, 2023, 110095.

6 研究室活動

・ 学部

卒業論文または卒業設計、設計競技など

・ 修士

修士論文、設計競技など

・ 博士

博士論文